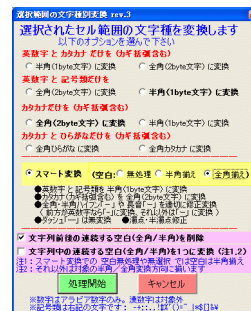


【概説】

- 選択範囲の文字種別を任意に変換する Excel 用アドインです。
- 作成は MS Excel 2003 / 2010 で行いましたが、Excel 97 以降であれば使用できます。
- ※Windows 7 & Excel 2010 / 2016 での動作も確認済み。
- 実際のダイアログ画面は、最後のページをご覧ください。



1. 半角カタカナから全角ひらがなに変換する場合でも、半角カタカナを事前に全角に変換する手順を踏むことなく、一回で変換できます。
 2. 基本的には、空白文字の全角／半角変換はしませんが、スマート変換の場合だけ、以下の 3 つのオプションを選べます。
 - a) 無処理：空白文字はいじらず元のままにする
 - b) 半角揃え：空白文字は全て半角に変換する
 - c) 全角揃え：空白文字は全て全角に変換する
 3. 基本的には、文字前後及び文字中の全角・半角の空白文字を除去しませんが、以下の 2 つの除去（トリミング）オプションを追加で選べます。
 - a) 文字前後の空白文字だけ除去する
 - b) 文字列の間にある連続する全角・半角の空白を 1 つの空白にまとめる
- ※ b)を選ぶと、無条件に a)も選ばれます。
- ※ b)を選ぶと、以下の制約が掛かります。
- 1) スマート変換での「空白 無選択」の場合は、空白は半角揃えになります。
 - 2) スマート変換での「空白 無処理」は無視され、空白は半角揃えになります。
 - 3) それ以外の変換では、空白が主処理の半角／全角変換方向に揃えられます。
- 例：3-b)を選んで、英数字と記号類を全角変換すると空白は全角揃え
 3-b)を選んで、英数字と記号類を全角変換すると空白は半角揃え

※ご注意：

- ・本アドインが変換するのは、セルに直接代入された「**文字**」と「**数字**」だけです。
- ・「数値」や「式によって表示される数字や文字」は変換対象外です。
- ・例えば ="ABC カキケコ" や =50 や ="1" と代入されたセルを選択範囲に含めても、本アドインは変換対象とみなしません（無視します）。
- ・なお、セルにアポストロフィ付きで 'ABC' や '100' や '30' のように入力されたものは「文字」や「数字」なので変換対象となります。

※事前に数値として入力されたセルに対して、あとでセル書式を「文字列」に設定し直しただけのセルは対象外となりますのでご注意ください。書式を文字列にした後に再変換で確定（編集状態にして[Enter]）するまでは、Excel はそれを数値とみなします。

※処理対象文字列に 1 文字であるべき「だ」を 2 文字の「たゝ」と記すような不適切な濁点や半濁点が含まれている場合に、全角カタカナや全角ひらがなへの変換を行うと、適切な 1 文字に変換します。

変換対象文字：

●全角英数字・記号：

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h
i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- + ; : . , ! # % ' () = _ | * \$ [] & ¥

●半角英数字・記号：

0123456789ABCDEFGHIJKLMNopqrstuvwxyz
-+;:.,!#%()'=~|*\$[]&¥

●全角カタカナ：

・、。ー「」アアイイウエエオオカキクケコサシスセソタチツツテトナニヌネノハヒフヘホマミム
メモヤユユヨヨラリルレロワヲンヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ

●全角ひらがな：

・、。ー「」ああいいうええおおかきくけこさしすせそたちつつてとなにぬねのはひふへほまみむ
めもややゆゆよよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ

●半角カタカナ：

・、。ー「」アアイイウエエオオカキクケコサシスセソタチツツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユユヨ
ラリルレロワヲンヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ

【ご利用前の設定】

【設定方法 1: ユーザー毎に登録したい場合】

選択範囲文字種別の変換.xla を以下のフォルダ

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data\Microsoft\AddIns

にコピーしてから、MS Excel を起動して、[ツール]—[アドイン]で「選択範囲文字種別の変換」に
チェックを付けて下さい。

※上記パスの（ユーザー名）部分は実際のユーザー名です

例：ユーザー名が John ならば、フォルダは以下の場所です。

C:\Documents and Settings\John\Application Data\Microsoft\AddIns

※このフォルダを簡単に開くための VBS を用意してあります。

AddIn フォルダ開く.vbs を実行すると上記フォルダが開かれますので、そこに

選択範囲文字種別の変換.xla をコピーして下さい。

ファイルを削除する場合もこの VBS を使うと便利です（削除の前にアドインのチェックを
外して下さい）。

【設定方法 2: ユーザーの区別なく一括で登録したい場合】

選択範囲文字種別の変換.xla を、MS Excel（もしくは MS Office）をインストールしたフォルダの

直下にある Library フォルダ[*1] にコピーしてから、MS Excel を起動して、[ツール]—[アドイン]で
「選択範囲文字種別の変換」にチェックを付けて下さい。

[*1] 普通にインストールした場合は例えば以下の場所です（Excel 2003 の例）。

C:\Program Files\Microsoft Office\OFFICE11\Library

【ご利用を止めなくなった場合】

【設定方法 1】、【設定方法 2】のどちらの場合でも、MS Excel を起動して [ツール]—[アドイン]で
「選択範囲文字種別の変換」のチェックを外してから、MS Excel を終了させます。

その後に、選択範囲文字種別の変換.xla を、【設定方法 1】、【設定方法 2】で説明したフォルダから
削除して下さい。

レジストリは使用していませんので、以上で綺麗に削除できます。

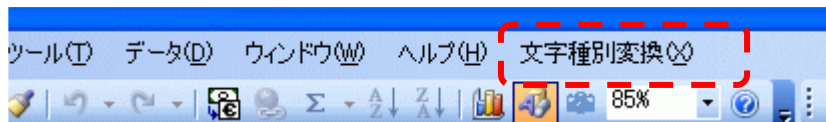
※一時的に使用を中止したいだけで、また使う予定がある場合は、[ツール]—[アドイン]で
「選択範囲文字種別の変換」のチェックを外すだけで結構です。

再度使いたくなったときにチェックを付け直して下さい。

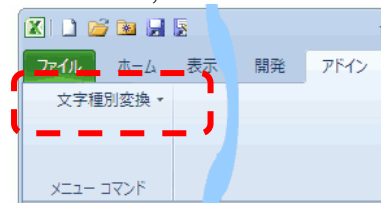
【使用方法】

追加すると、Excel のメニューバーの右端（Excel 2007 以降ではアドインタブ内）に「文字種別変換(X)」というメニューが現れます。それをマウスで選び、更に現れる「選択範囲文字種別の変換(C)」をクリックすれば変換用のダイアログが開きます。

Excel 97～2003



Excel 2007, 2010



具体的な手順は以下の通り：

- 1) 変換したい文字を含む Excel ブックのシートを最前面にします。
- 2) 変換したいセル範囲を選択状態にします。
- 3) メニューバーを「文字種別変換(X)」―「選択範囲文字種別の変換(C)」とマウスまたはカーソルキーで辿ります。
※キーボードにて、[Alt]+[X]に引き続き[C]とタイプしても結構です。
- 4) 「選択範囲の文字種別変換」のダイアログが表示されます。
- 5) 表示された選択肢の中から希望する変換種別のラジオボタンにチェックを付けて
- 6) [処理開始]をクリックします。
- 7) 選択した処理の前に、念のために確認ダイアログが表示されますので、その文面と、Excel ワークシート画面とを確認してから、[OK]をクリックします。
- 8) 変換処理がされます。

※マクロによって変換処理を終えた場合には、通常の手動操作のようにやり直しはできませんので、ご注意下さい。

【備考】

- ・変換対象でないセルを極力スキップするように工夫してはありますが、シート全範囲や行や列を選択した場合は、当然ながら変換対象が多量に存在する可能性があるため、時間が掛かることをご承知置き下さい。

変換中にはステータスバーに、処理中の数 / 変換対象総数 として、

文字列置換中… 123 / 5678

のような表示をすることで、進行状況がわかるようにしてあります。

- ・マクロのバグやその他の理由で Excel を強制終了させなくてはならなくなったりした場合に Excel ブック（=Excel ファイル）の内容が失われる恐れがありますので、マクロを実行させる前に、ブックを保存しておくことをお勧めします。
- ・本アドインを使用した結果に対して、作者は一切の保障・補償を致しません。本アドインに対するご意見・ご希望は歓迎いたしますが、作者はそれら全てに対応する義務を持ちません。同様に、バグや仕様不足に対する修正の義務も持ちません。

※本アドインの VBA コードには、敢えてパスワード保護をかけておりません。

基本的にコードの転用や変更は自由に行っていただいて構いません。

但し著作権はわたくし Seiji Fujita が保持します。

商用利用も禁止いたしません、その場合にはご一報いただけると幸いです。

ご注意

なお上記に記している通り、本アドインを直接または二次的に商用利用などされた結果として、損害を被ったり、何らかの争議を起こされたりした場合には、改変または商用利用したご本人さま／法人さまで対処して下さい。
決してそれら責任を私に押し付けないで下さい。もしも争議や訴訟などを懸念されるのであれば、直接利用または改変利用などをなさらないで下さい。

【履歴】

rev.0 2011-01-30

- ・公開

rev.1 2011-02-04

- ・スマート変換の際に文字列前後の空白除去処理(**Trim**)が漏れていたのを修正した
- ・ワークシートのない状態で呼び出された際のエラートラップを追加した
- ・文字前後の連続する半角・全角空白を除去する機能（トリミング）なしを標準とし、文字前後のトリミングだけと、文字列中の連続する半角・全角空白を1つの空白にまとめる特殊トリミングとを選べるように機能拡張した
- ・表には出てこないが、単独で利用する場合用のマクロツールバーに割り当てたプロシージャ名が旧名だったのを、現行名に改めた。
- ・主処理で画面更新処理を止めた後、復帰させるコードをタイプミスしていて止めたままになっていたのを修正した
- ・スマート変換において空白の処理を選べるようにした。

rev.2 2011-02-04

- ・Excel 97～2003 の全バージョンで動作させるために、Excel 2000 移行で導入された **Replace** 関数の簡易代用関数 **strReplace** で処理しており、知覚できない程度とはいえ **Replace** が使えるバージョンでの性能が落ちることになる。それを改善するために **Excel97** とそれ以降とで最適動作をするように改善した。
- ・変換対象が存在しない場合に、ステータスバーを消してしまう不具合を修正した

rev.2a 2011-02-05

- ・**strReplace** を Excel のバージョンに応じて内部動作を切り替える目論見だったが、現実には **Excel 97** で動作させた場合に、**Excel97** に存在しない **Replace** が記述されているだけで、JIT コンパイラによってエラーが發せられてしまう事が判明したので、バージョン分岐を無効化した(実質 rev.1 時点と同じにした)現実には **Excel97** に存在しない **Replace** が記述されているだけで、JIT コンパイラによってエラーが發せられてしまう事が判明したので、バージョン分岐を無効化した(実質 rev.1 時点と同じにした)

rev.3 2011-02-06

- ・スマート変換にて全角カタカナや全角ひらがなの不適切な濁点・半濁点を修正する機能を追加した（半角カタカナを全角カタカナに修正する処理によって、全角カタカナの濁点・半濁点は実質的に処理されていたが、ひらがなは対象外だったので、明示的に処理を追加した）。

rev.4 2014-02-21

- ・半角ハイフン（マイナス）文字を選択的に、全角長音「ー」に変換する処理が意図したとおりでなかったのを修正した（例：「カ-ル」が「カール」とならない）。
- ・選択ダイアログのタブオーダーがバラバラだったので並べ直した。
- ・選択ダイアログ上の罫線（——）を 9pt に変更した。

rev 5 2016-03-11

- ・半角ハイフン（マイナス）文字を選択的に、全角長音「ー」に変換する処理がまだ意図したとおりでなかったのを修正した
- ・ダッシュ「—」を長音に準じて変換するオプションを追加した。

rev.6 2017-10-09

- ・rev.5 でのダッシュ変換が2文字目にある場合に失敗していたのを修正
- ・アドインとして使用中、他のファイルを閉じると本マクロの **Auto_Close** で本マクロを **Activate** しようとしてもエラーとなり、都度エラーダイアログが発生するので **Activate** 処理を止めた。またファイルを閉じる処理も書いてあったが、アドインは自動で閉じられる筈なのでその処理もコメントアウトした。

rev.7 2018-03-09

- ・Excel 2016 (Excel 2013 も同様かも?) にてメニューが複数個生成されてしまうことが判明したので、回避策を講じた。

※Excel 2010 までの版でも意図してメニュー生成手続きを複数回実行した場合は発生する状況だったがアドイン追加では発生していなかった様子。

- ・設定画面の一部文字が隠れていたのを修正
- ・**Auto_Open**, **Auto_Close** をそれぞれ **Workbook_Open**, **Workbook_BeforeClose** に変更

表示されるダイアログは以下の通り

選択範囲の文字種別変換 rev.7

選択されたセル範囲の文字種を変換します
以下のオプションを選んで下さい

英数字 と カタカナ だけを (カギ括弧含む)

☒ 半角(1byte文字) に変換

☐ 全角(2byte文字) に変換

英数字 と 記号類だけを

☐ 全角(2byte文字) に変換

☐ 半角(1byte文字) に変換

カタカナだけを (カギ括弧含む)

☐ 全角(2byte文字) に変換

☐ 半角(1byte文字) に変換

カタカナ と ひらがなだけを (カギ括弧含む)

☐ 全角ひらがな に変換

☐ 全角カタカナ に変換

☒ スマート変換 (空白 ☐ 無処理 ☐ 半角揃 ☐ 全角揃)

●英数字 と 記号類を 半角(1byte文字) に変換

●カタカナ(カギ括弧含む) を 全角(2byte文字) に変換

●全角・半角ハイフン「-」や 長音「ー」を適切に修正変換
(前方が平仮名・カタカナなら「-」に変換、それ以外は「ー」に変換)

●濁点・半濁点修正

☐ ダッシュを長音に準じて処理

☐ 文字列前後の連続する空白(全角/半角)を削除

☐ 文字列中の連続する空白(全角/半角)を1つに変換 (注1,2)

注1: スマート変換での 空白無処理や無選択 では空白は半角揃え

注2: それ以外は対象の半角/全角変換方向に揃います

処理開始

キャンセル

※数字はアラビア数字のみ。漢数字は対象外

※記号類は右記の文字です: -+;:.,!#\$%&'()*=~_`{|}~